

国	内	県	内
1日	6月日銀短観、前回調査より5P悪化 日本銀行の6月企業短期経済観測調査によると、大企業製造業DIは前回調査から5P悪化のプラス12。	1日	6月の県内金融経済概況、判断据置き 日本銀行宮崎事務所は、6月の県内金融経済概況で「持ち直しの動きが続いている」と判断据置き。
1日	14年路線価、下げ幅縮小 国税庁は2014年1月1日現在の路線価を公表。全国平均0.7%下落するも下げ幅は前年比1.1P縮小。	1日	県、宮大と連携しメディカルチェック費用補助 県は宮崎大学と連携し、県内でキャンプするスポーツ選手らのメディカルチェック費用補助事業を開始。
3日	14年春闘、平均賃上げ額は5,928円 連合は、2014年春闘の最終集計結果を発表。定昇を含む平均賃上げ額は5,928円で15年ぶり高水準。	2日	綾町ガイド本、韓国版作成で来町 綾町と友好交流協定を結ぶ鎮安郡(韓国)の一行が、同町紹介の韓国版ガイドブック作りで来町。
4日	13年度年金運用益、約10.2兆円 年金積立金管理運用独立行政法人は、2013年度の運用結果が10兆2,207億円の黒字と発表。	4日	木材利用ポイント制度、本県約4億円相当発行 林野庁は、6月末の「木材利用ポイント制度」発行状況を発表。本県は1,196件、約4億円相当を発行。
8日	5月国際収支、前年比7.7%減の5,228億円 財務省は、5月の国際収支速報で経常収支の黒字額が前年同月比7.7%減の5,228億円と発表。	4日	14年1～6月の県内企業倒産25件 帝国データバンクは、2014年1～6月の県内企業倒産集計を発表。法的整理による企業倒産は25件。
10日	5月機械受注額、前月比19.5%減 内閣府は、5月機械受注統計で「船舶・電力を除く民需」受注額が前月比19.5%減の6,853億円と発表。	13日	県訪問団、ソウル線利用促進で韓国訪問 利用客が減少のアシアナ航空「宮崎ーソウル」線維持を求め、県などで構成の訪問団が韓国訪問。
11日	6月末投信資産、過去最高の約84兆円 投資信託協会は、投資信託で運用されている純資産総額が6月末時点で83兆5,640億円と発表。	15日	日南市と宅建業協が県内初協定 日南市と日南地区宅地建物取引業協会は、同市への移住・定住を支援するための協定を締結。
17日	7月月例経済報告、半年ぶり景気判断引上げ 政府は、7月の月例経済報告で「駆け込み需要の反動も和らぎつつある」と景気の基調判断を引上げ。	18日	こんにゃくを加工し、木城町特産品へ 木城町で、「木城こんにゃくの郷づくり事業協同組合」が発足。加工品を増やし6次産業化に繋げる。
18日	6月全国百貨店売上高、前年比4.6%減 日本百貨店協会は、6月の全国百貨店売上高が前年同月比4.6%減の4,884億2,227万円と発表。	19日	旧石河内小を改修し、スポーツ合宿受入れ 木城町は、旧石河内小学校校舎を農業体験やスポーツ合宿用団体宿泊施設として改修し利用開始。
22日	「健康医療戦略」を閣議決定 政府は、世界最先端の医療で健康長寿社会をつくり経済成長を図る「健康医療戦略」を閣議決定。	20日	串間市で港の駅「いままち」オープン 串間市で、串間市漁協が運営する農水産物直売所・港の駅「いままち」がオープン。
23日	14年上半期訪日客、過去最高の約626万人 政府は、1～6月の訪日外国人入込客数が前年同期比26.4%増の626万400人と発表。	22日	宮崎市でMICE誘致研修会を実施 みやざき観光コンベンション協会は、宮崎県で国際会議などのMICE誘致研修会を開催。
24日	14年上半期貿易収支、約7.6兆円の赤字 財務省は、2014年1月～6月の貿易統計(速報値)で貿易収支が7兆5,984億円の赤字と発表。	22日	JAえびの市、オリーブを特産品へ えびの市のJAえびの市は、オリーブ部会を発足。23農家が特産品へ向けオリーブの栽培強化を図る。
25日	6月消費者物価、3.3%上昇 総務省は、6月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)が前年同月比3.3%上昇の103.4と発表。	25日	高原町、「ふるさと納税」に特典 高原町は、「ふるさと納税」寄付者に寄付額の半額相当分の地元特産品を贈る事業を開始と発表。
30日	6月鉱工業生産、3.3%低下の96.7 経済産業省は、6月の鉱工業生産指数速報が前月比3.3%低下の96.7と発表。消費の落込みが原因。	29日	本県求人倍率、0.97倍で九州1位 宮崎労働局は、6月の有効求人倍率(季節調整値)が0.97倍と発表。14カ月連続改善し九州で1位。